

横浜市立 神大寺小学校 学校評価報告書 (令和元～3年度)

重点取組分野	令和元年度		総括	令和2年度		総括	令和3年度		総括
	具体的取組	自己評価結果		具体的取組	自己評価結果		具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①カリキュラムマネジメントにより授業改善を図る。プログラミング教育の導入のために「情報教育学習プログラム」を編纂する。一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、少人数指導や一部教科担任制に至らなかつた。②学年だよりや懇話会等を通して、学習習慣の定着に取り組む。	①プログラミング教育に関しては、研究科の情報収集や授業指導案を模索している状況である。今後学習プログラムを編纂していく。また、数教科担任制の導入が実現した。②学年だよりや懇話会等を通して、家庭学習の定着化を図る。	B	①一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、算数の少人数指導や一部教科担任制を導入して学習指導の工夫改善に取り組む。また、学習支援のステップアップについては英語と算数が選択できるようになっている。②学年だよりや懇話会等を通して、家庭学習の定着化を図る。	①学年級数の増加により空き教室が減ったため、算数の少人数指導が3年だけ実施できた。3年から6年まで一部教科担任制を導入して学習指導の工夫改善に取り組んだ。ステップアップは少人数の関係で3年の国語が選択できなかった。②学年だよりや個人面談等を通して、家庭学習の定着化を図る。	B	確かな学力	①一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、教科分担任制や少人数指導を継続して学習指導の工夫改善に取り組む。また、学習支援のステップアップについては英語と算数が選択できるようなっている。②学年だよりや個人面談等を通して、家庭学習の定着化を図る。	
豊かな心	①被災地理解学習プログラムを実施する。確かな人権感覚・意識を育成するために、「人権教育学習プログラム」などにも計画的に取り組む。②豊かな感性や情懷を育成するために、体験学習、音楽や芸術に触れる活動、読書活動に取り組む。	①被災地理解学習プログラム、人権教育学習プログラム等を実施する。確かな人権感覚・意識を育成するために、「人権教育学習プログラム」などにも計画的に取り組む。②豊かな感性や情懷を育成するために、体験学習、音楽や芸術に触れる活動、読書活動に取り組む。	B	①「だれもが安心して」「豊かに」の視点で道徳科をはじめ、他の教科や学校生活の中を通して道徳科を学ぶ。②豊かな感性や情懷を育成するために、体験学習、音楽(歌声コンサート・ミニコンサート・音楽集)や芸術(読書活動、読書発表、異学年交流活動(文芸発表・音楽・アート)など)に取り組む。	①コロナのことを含め、差別・偏見の防止に向けて全校および学級で6年までの宿習体験学習を実施してきたが、その他の活動は実施することができなかった。運動会は分散型で実施し、テレビ放送を通して一体感を図ることができた。	B	豊かな心	①「だれもが安心して」「豊かに」の視点で道徳科をはじめ、他の教科・学校生活・コロナの生活を通して充実した心豊かな教育を目指す。②豊かな感性や情懷を育成するために、できる範囲の中での学校行事、学年行事、集会活動、体験学習、社会見学、芸術鑑賞、音楽活動、読書活動、異学年交流活動などに取り組む。	
健やかな体	①自分から運動に親しみ、体力向上に取り組むとできる姿勢を育成するために、体力向上1校1実践運動、ドリムコースの活用、体育的行事などに取り組む。②自分から生活習慣の改善、健康増進や健康な生活を送ろうとする意識を高めるために、食育や健康教育に取り組む。	①各学年大鑑集会を通して、運動日の日常化を図ることができた。登校後、中休み、昼休みには校庭でボール遊びやおにごっこ等をやる姿が見られる。②自分から生活習慣の改善、健康増進や健康な生活を送ろうとする意識を高めるために、食育や健康教育に取り組むことができた。	B	①児童が運動機会の確保をするため、大鑑集会を通して運動の日常化を図る。また、体育の準備運動などは困難であった。②呼びかけをしながら、休み時間にも走り回ることができ、注意喚起と巡回を強化している。給食の残量等は、年単位で削減品以外において、昨年より削減することができた。	①体育の準備運動などでドリムコースの活用はできていたが、体育の準備運動などは困難であった。②呼びかけをしながら、休み時間にも走り回ることができ、注意喚起と巡回を強化している。給食の残量等は、年単位で削減品以外において、昨年より削減することができた。	B	健やかな体	①児童が運動機会の確保をするため、できる範囲の中で体育授業をはじめ、体育の準備運動や体力向上を目指したドリムコースの活用を図る。②生活の自立・健康増進・安全な生活を実現するために、自分から安全に注意して行動できるように取り組む。引き続き注意喚起と巡回を実施する。給食の残量等をさらに削減できるように配慮等を工夫する。	
キャリア教育	①自己肯定感を向上させるために、目標の設定や振り返りのある学習に取り組む。コミュニケーション能力を向上させる学習プログラムや活動に取り組む。②集団の課題を主体的に解決する力を育成するために、様々な集団活動や地域貢献・社会参画に関する体験に取り組む。	①学年・学校行事を通して、学習や学年の目標に向けて取り組むことができた。自己肯定感を向上させることができた。②異学年交流活動(文芸発表)を実施した。③IUの授業や一校一運動活動を通して、シラカバやオーダンの文化を学習することができた。	B	①一人ひとりが集団の中での自分の役割を意識できるよう取り組むことを通じて、自己肯定感の向上を図ることができた。②地域や企業等と連携し、交通安全教室・社会見学・職業体験などを通して、学習したことが生活や将来につながるようになっている。	①参加している中であったが、学級や学年の範囲において、できる範囲の取り組みを行った。また、今年度から始まった自分づくりノートの導入もできた。②1年の防災教室、2年の収穫体験、3年の消防体験、4年の防災センター、5年の日産工場は実施することができた。	B	キャリア教育	①一人ひとりが集団の中での自分の役割を意識できるよう取り組むことを通じて、自己肯定感の向上を図るとともに目標を持つことができるよう育てる。②できる範囲の中で地域や企業等と連携し、体験学習や社会見学などを通して、学習したことが生活や将来につながるようにする。	
国際教育	①「外国語活動」「外国語科」を通して、外国語(英語)に親しむ。②IUによる授業やアフリカについての統一「国運動等」による外国文化に触れる。また、日本の文化を学習することで、国際理解の態度を育成する。	①年間を通してAETも含め英語の授業研究に取り組む。次年度の新学期指導要領に向けた準備や確認をすることができた。また、授業発表も実施した。②IUの授業や一校一運動活動を通して、シラカバやオーダンの文化を学習することができた。	A	①「外国語活動」「外国語科」を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。②AETおよびIUとの交流を通して、様々な国の文化を学習したり、外国語の音声や挨拶などによる表現に慣れ親しんだりするようになっている。	①「外国語活動」「外国語科」を通して、児童が意図的に外国語活動に取り組む機会があった。②AET・IUの授業の積み重ねがあり、児童が安心して英語学習を楽しむことができていた。また、授業研究会を通して、授業づくりや評価について研修を深めることができた。	A	国際教育	①外国語による聞くことや話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す。②AETおよびIUとの交流を通して、様々な国の文化を学習したり、外国語の音声や挨拶などの身近な表現に慣れ親しんだりするようにする。	
児童指導	①問題行動の防止や適切な指導のために、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、校内や関係機関と情報共有しつつ、組織的な対応を行う。②適切な特別支援教育を行うために、関係機関との連携や研修を実施し、保護者との連携や児童生徒との交流活動などに計画的に取り組む。	①できるだけ早期発見、早期対応を心掛けて取り組んだ。関係機関とも連携を図ることができたが、組織的な対応を行う。②特別支援教育では保護者や関係機関との連携や研修を実施し、保護者との連携や児童生徒との交流活動などに計画的に取り組む。	B	①問題行動の防止や適切な指導のために、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、校内や関係機関と情報共有しつつ、組織的な対応を行う。②適切な特別支援教育・不登校支援を行うために、関係機関との連携や研修を実施し、保護者との連携や児童との交流活動などに計画的に取り組む。	①素早い情報共有の対応や怪我・事故防止のための校内巡回や呼びかけをより強化し、関係機関との連携を実施する。②適切な特別支援教育・不登校支援を行うために、関係機関との連携や研修を実施し、保護者との連携や児童との交流活動などに計画的に取り組む。	B	児童指導	①問題行動の防止や適切な指導のために、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、素早い情報共有を通して組織的な対応を行う。②適切な特別支援教育・不登校支援を行うために、関係機関との連携や研修を実施し、保護者との連携や児童との交流活動に計画的に取り組む。	
信頼される学校づくり	①安全な環境づくりのために、施設管理を徹底し、防災・防犯等に対する計画を立案し、訓練・指導を実施する。②保護者からの信頼を高めるために、適切な広報活動を行う。また、児童や保護者の入学・進学時の不安の軽減のために、計画的な入学準備、幼保小連携、小中連携等を行う。	①施設の不備が発見されたときは、早期に整備するよう努めた。月に1回の避難訓練を実施し、避難経路や行動の仕方について理解を高めることができた。②学校および定期的に発行してきたが、HPの更新が今後の課題である。幼保小中連携を図り、適切な対応ができるよう継続する。	B	①安全な環境づくりのために、施設管理を徹底し、防災・防犯等に対する計画を立案し、訓練・指導を実施する。②学校だよりや保護だよりなどの発行・定期的なHPの更新を通して広報活動を行う。また、児童や保護者の入学・進学時の不安を軽減するために、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。	①特別教室のエアコン設置やフェンス等の整備を行った。定期的な防災訓練を実施することができなかった。②学校だよりや保護だよりなどの発行・定期的に発行を行う。HPは掲載内容を直し、定期的に更新できるように努める。幼保小中連携はできる範囲の中で行った。	B	信頼される学校づくり	①安全な環境づくりのために、施設管理を徹底し、防災・防犯等に対する計画を立案し、整備・訓練・指導を実施する。②学校だより・保護だより・給食よりの発行、定期的なHPの更新を通して広報活動を行う。また、必要に応じてメール配信を活用する。児童や保護者の入学・進学時の不安を軽減するために、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。	
地域連携・学校運営協議会	①地域の人的・物的資源を活用した児童の学習活動や学校支援活動の推進に取り組む。また、社会教育との連携や学校施設の有効利用と地域との協働を図る。②学校運営協議会の効果的かつ円滑な運営に取り組む。地域や保護者に向けて情報公開を図る。	①野菜的収穫体験学習、神楽音頭の講習会、まゆ玉作り体験学習を実施し、地域との連携を図ることができた。学校・地域コーディネーターの取得が推進した。②中学校ブロックでの運営協議会では風水害による対応策について、円滑な運営ができるよう要望を提出した。	B	①地域の人的・物的資源を活用した児童の学習活動や学校・地域コーディネーターを通して学校支援活動の推進に取り組む。また、社会教育との連携や学校施設の有効利用と地域との協働を図る。②中学校ブロック学校運営協議会を通して、効果的かつ円滑な学校運営に取り組む。	①野菜的収穫体験学習、防犯教室、消防体験活動を実施することができた。また、大学生による学習支援もできる範囲の中で実施した。②今年度は授業参観等は見送られたが、中学校ブロック学校運営協議会を通して、今後の学校運営に関する共通理解を深めることができた。	B	地域連携・学校運営協議会	①地域の人的・物的資源を活用した児童の学習活動や学校・地域コーディネーターを通して学校支援活動の推進に取り組む。また、社会教育との連携や学校施設の有効利用と地域との協働を図る。②中学校ブロック学校運営協議会を通して、効果的かつ円滑な学校運営に取り組む。	
いじめへの対応	①いじめの未然防止のために、学校いじめ防止基本方針に基づき、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、組織的に対応するとともに、いじめを生まない集団づくりのための指導を計画的に行う。②学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者や関係機関との連携を図る。	①アンケートや面談、状況把握等の情報から早期発見を心掛け、職員への周知とともに組織的に対応することができた。②事実を確認するとともに、被害者・加害者への対応および保護者や関係機関との連携を図ることができた。	B	①いじめの未然防止のために、学校いじめ防止基本方針に基づき、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、組織的に対応するとともに、いじめを生まない集団づくりのための指導を計画的に行う。②学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者との連携や関係機関との連携を推進する。	①未然防止のために、アンケートや面談による児童の状況把握を行った。また、学別別いじめに関する指導も行った。②研修を通して、素早い正確な情報共有の体制づくりの改善に取り組んでいる。関係機関との連携を図ることができた。	B	いじめへの対応	①いじめの未然防止のために、学校いじめ防止基本方針に基づき、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、組織的かつ迅速な対応をとるとともに、いじめを生まない集団づくりのための指導を計画的に行う。②学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者や関係機関との連携を推進する。	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた人材育成を行うために、ぶりに、企画・週一催しの開催と各種研修を推進する。②校内組織の効率化・機能化のために、「会議ガイド」「組織ガイド」や評価指標に基づき客観的な学校評価を活用し、組織運営の改善に取り組む。また、業務改善や適切な労務管理を実施し、働き方改革を推進する。	①初任から6年目・リーダーシップ開発研修・人材育成マネジメント研修対象職員および主幹教諭でメンターチームを構成し、人材育成に努めた。管理職、主幹教諭・学年主任で行い、研修のフォローアップについては、業者委託で実施した。	B	①キャリアステージに応じた人材育成を行うために、メンターチーム、週一催(管理職・主幹)などの開催と研修を推進する。②校務分掌が効果的かつ機能化するために、校内組織ガイドや学校運営評価を活用し、学校運営の改善に取り組む。また、業務改善や適切な労務管理を実施し、働き方改革を推進する。	①今年度は新型コロナウイルスによる教育活動全体の制限があるため、授業研究会が中止になるなど、ブロック内で協議を行い、情報共有ができていなかった。その中でも自分づくりに教育(キャリア教育)では、各校の資質・能力系統に基づいた指導を認めることができた。次年度はこのように中・小一貫の在り方を考えたいとともに、昨年度の課題であった学校規模に合わせた授業研究会の持ち方の検討を行っていく。	B	人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた人材育成を行うために、メンターチーム、管理職・主幹などの開催と各種研修を推進する。②校務分掌が効果的かつ機能化するために、校内組織ガイドや学校運営評価を活用して改善に取り組む。また、ゆとり時間確保ができるよう業務改善や適切な労務管理を実施して働き方改革を推進する。	
ブロック内評価後の気付き	中学校ブロックでの学校運営協議会を含め、小中合同授業研究会にも運営協議会委員の地域住民や学校関係者の方々に参加していただき、児童・生徒の取組や学校の様子を共有することができた。また、小中ブロック担当者を通して、各学校の年間行事予定を調整することができた。教科別の協議会では、小中学校の新学期指導要領に向けて身に付けさせたい力・9年間で育む姿を明確にし、学習内容の確認や継続していく指導の工夫などを話し合うことができた。児童支援専任・生徒指導専任を中心に児童・生徒の情報交換も深めることができた。		B	今年度は新型コロナウイルスによる教育活動全体の制限があるため、授業研究会が中止になるなど、ブロック内で協議を行い、情報共有ができていなかった。その中でも自分づくりに教育(キャリア教育)では、各校の資質・能力系統に基づいた指導を認めることができた。次年度はこのように中・小一貫の在り方を考えたいとともに、昨年度の課題であった学校規模に合わせた授業研究会の持ち方の検討を行っていく。		B	ブロック内評価後の気付き		
学校関係者評価	スクールゾーン対策協議会において保護者や地域からの設備要望等に対して、警察署・土木事務所・区役所等と調整した結果、横断歩道の補修やスツプマークの新設など改善を図ることができた。また、今後子どもたちの通学路をより安全なものにするために協議した。PTA主催で地域ケアプラザより介護支援専門員を講師として、認知症サポーター養成講座を開催したことは、認知症を正しく理解することで、身近な認知症の方に温かい眼差しを向けることができる温かい町づくりの一助となり大変よかった。子どもたちのために誰もが参加できる持続可能なPTA活動を目指して取り組んでいる。		B	地域ケアプラザを利用している皆さんから、手作りで作成した雑巾を学校に寄付していただき、実際に活用している様子を伝えたところ、お互いにより相乗効果を生むことができた。校外学習で農業体験に移動するときに、マナーを守って行動している様子を地域の方々から評価され、児童の自己肯定感を向上させることにつながった。消防体験では児童との活動を通して、消防員の方の非常に貴重な体験をすることができたことを高く評価された。		B	学校関係者評価		
中期取組目標振り返り	次年度から新学期指導要領が全面実施されるため、新たに導入される外国語・外国語活動について、より効果的な学習指導ができるように1年間を通して研究していく。運動会においては恒例の9月中旬に実施したが、猛暑対策を考慮することや地域行事との理解も得ることができた。次年度は10月中旬に実施することとした。働き方改革の観点から、職員が行っていたプール清掃と教室のワックスかけを業者委託にした。全体の約80%が40歳未満、20歳代が55%の年齢構成であり、メンターチームをはじめ人材育成を行っている課題は多い。		B	今年度から新学期指導要領が全面実施されるようになったが、新型コロナウイルスの影響で休校となり、できる範囲の中で教育課程を編成した。休校中の各学年の学習課題を通して、再開後・教科担当制を取り入れるなどの工夫をすることで、学習進度を合わせることができた。新たに導入された外国語・外国語活動については、より効果的な学習指導や適切な評価ができるように年間を通して指導主事を含めて研修することができた。運動会においては分散型で実施したが、10月中旬に移したことで熱中症予防対策を講ずることができた。全体的に経験年数が少ない職員構成であるため、学年主任クラスの人材育成と課題は多い。		B	中期取組目標振り返り		